

私たち農林中央金庫の仕事は、
ある日突然、世界を大きく変えるようなものではない。

なぜなら私たちが向き合う農林水産業とは、
自然を相手にし、一朝一夕に変化や成果を生み出すものではないから。
モノをつくるのではなく、「いのち」を生み、育て、繋いでいくものだから。

だからこそ私たちは、世界の金融市場で安定した利益をあげるという挑戦を続け、
規模の大小を問わず、地域と農林水産業を守る人々に尽くす金融機関として生きてきた。
そうして、90余年の歴史を重ねてきた。

しかしこれからは、それだけでは十分とはいえない。
農林水産業が、時代の変化をとらえ発展し続ける産業になるためには、
私たちは、これまで以上の役割を果たさなければならない。

金融の知見を活かしながら、いままでの機能や範囲を超えた新たな貢献へ。
現場の課題の解決に、身をもって真摯に挑んでいく。
生産者はもちろん加工や流通、そして消費者と向き合い、その声に応えていく。

農林水産業から生まれる「いのち」は、
その先に連なるたくさんの「いのち」の営みに繋がっている。

いまこそ、私たち一人ひとりが、持てるすべてを発揮する時。
未来へと受け継がれるこの「いのち」の連鎖を、
より豊かで確かなものにするために。

持てるすべてを「いのち」に向けて。

Dedicated to sustaining all life.

農林中央金庫

目次

PART 1	農林水産業の未来、農林中央金庫の未来	7
	市川 晃 <small>住友林業株式会社 代表取締役社長</small> × 奥 和登 <small>農林中央金庫 代表理事理事長</small>	
	木を見て、森を見て 日本が見えてくる	8
	女性経営者たちが語る 農業ビジネスの現実と未来	14
PART 2	農林中央金庫は、ここに向かう	21
	農林中央金庫の価値創造モデル	22
	私たちの人となり	24
	中期経営計画	26
PART 3	価値を生み出す3つの事業とその基盤	29
	食農ビジネス	30
	リテールビジネス	38
	投資ビジネス	42
	コーポレート	47
	企業データ	51

